

日進月歩



新年度になり、一か月が過ぎました。新しいクラス、環境には慣れたでしょうか？

1年生は、「色々なことにチャレンジしたい!」「たくさん友達をつくりたい!」など、期待を胸に入学したことと思います。部活動も本格的に始まり、より一層頑張りたい気持ちが高まっているのではないのでしょうか。

2年生は、「先輩」と呼ばれる立場になり、「後輩に色々教えてあげたい!」「憧れられるような先輩になる!」と気合が入っていることでしょう。昨年一年間の経験を存分に生かして、様々な場面で活躍することを期待しています。

3年生は、いよいよ中学生生活最後の一年を迎え、「受験生」としての自覚が芽生え始めたところだと思います。今までなんとなく進めてきた学習に対して、意識が大きく変わってきているのではないのでしょうか。進路について目標を定めて、「絶対に希望進路に進むんだ!」という強い意志をもって過ごしてほしいと思います。

さて、学年は違えど、中学生の悩みとして共通するのが勉強のことではないのでしょうか。「テストでいい点数をとりたい!」「部活と両立するためにはどうしたら良いの?」「みんなどれくらい勉強しているの?」などなど、きっと悩みは尽きないはず。

そこで、この「日進月歩」で学習に関する様々な情報を発信していきたいと思えます。

「日進月歩」とは、「日々、絶え間なく進歩すること」。みなさんが学び方を身に付け、一步一步前進し、充実した学校生活を送れるよう応援していきます!



『学習の手引き』を味方に付けよう!

二中では、全生徒に『学習の手引き』を配布しています(ロイロノートの資料箱にあります)。この手引きは、各教科ごとに、「学校の授業ではどんなことを学ぶのか」「どのように家庭学習を進めればよいか」など、学習の進め方が詳しく書かれています。勉強に困ったときは、ぜひこの手引きを活用してください。

また、効果的に家庭学習を進めるには、お家の方の協力が必要不可欠です。ぜひ、お家で家族と一緒に手引きを読んでみてください!

令和5年度入学生用

学習の手引き

館林市立第二中学校
氏名 _____

～ はじめに ～

★★★ 学校における基本的な考え方 ★★★
授業と家庭学習で「学ぶ力」を!

小・中学校では、子どもたちが将来社会人として自立するための基礎となる「学ぶ力」を育てます。中学校生活で一番大切なことは、授業を大切にすることです。授業を大切にすることは、必ず成績が伸びていきます。授業がよくわかるようになります。中学校生活もさらに楽しくなります。そのため、学校は基礎学力を高めるための努力をしています。家庭との協力によって、その成果は何倍にも高めることができます。

「学ぶ力」とは、「なぜ?」「どうして?」「どのように?」という疑問や課題をもちながら、知識を生かしたり、見通しをもって考えたりする力のことです。家庭学習の定着は、子どもたちの主体性や自立性を伸ばし、自信をもって人生を豊かにする力となり、将来への大きな財産となります。

日々の学習を充実させるために、「学習の手引き」を大切に活用していただきたいと思えます。

学習の心構え9か条

その1 先生の話を目と耳で聴き、考え、行動する
その2 忘れ物がない
その3 チャイム着席をし、授業前に準備を済ませておく
その4 宿題は自宅ですべて済ませる
その5 板書事項をノートにまとめる
その6 板書事項には、必要に応じて線を引いたりメモを書き加えたりする
その7 積極的に発表するとともに、友達の見解をよく聴く
その8 わからないことは、必ず質問をする
その9 私語や周りに迷惑をかける行動はしない

数学科の学習の手引き

1 中学校で学ぶ数学

基本的には小学校で学習したことをもとに内容を深めます。算数では、具体的なことから対して、考えたり計算したりすることが多くありますが、数学ではそれらをもとに、筋道を立てて考えながら問題を解決する学習を行います。

2 数学学習の心構え

- 問題解決を大切にする
- 問題解決は数学の力をつけるための一番の道です。様々なタイプの問題に触れることが重要です。
- 解法の途中経過もきちんと書く
- 問題を解くために、自分が何の知識を使い、どのような解き方をしたのかをきちんと書き残すことが重要です。ただ答えが求められるだけでなく、人に説明できるように書くことも大切です。また、それによりどのように関連したのかを振り返ることができると、さらに力がついていきます。
- 「わからないこと」を「わからないまま」にしない
- 数学は積み上げの教科です。学習した事項をもとにして、次の学習が行われます。わからない事項が溜まると、問題を解く際に考えが止まってしまいます。一つずつしっかりと理解しながら先に進むことが大切です。

3 ノートやタブレットの使い方

- 説明を聴きとくやノートを書くとき、タブレットで作業をするときの区別をしっかりとつける
- 「ながら勉強」は最大の天敵です。聴きながら、書きながらでは確実な理解につながりません。先生の話を「聴く」、ノートを「書く」、タブレットで「作業する」と区別させましょう。
- 板書はできるだけ速く書く
- 話を聴く時間とのメリハリをつけることが大切です。話の内容から重要なポイントを見つけ、気になることはメモをとっておき、あとでまとめることも大切です。また、タブレットを使って写真に残すことも有効です。(担当の先生に一言こわってから)
- 色は機能効果で活用する
- カラフルな色合いは、見出しのノートのように見えますが、うまくまとめられておらず、重要なポイントがわかりません。また、板書を写すときも時間がかってしまいます。赤と青の二色など、自分で使うポイントを決めて書くことも効果的に使うことができます。

家庭学習のススメ ～宿題について～

学びの基本は、もちろん「授業を大切にする」ことです。授業に真剣に向き合うことで、基礎的な学力が身に付きます。これをさらに高め、定着するために「家庭学習」が重要な役割をしています。この「家庭学習」には、大きく「宿題」と「自主学習」の二つがあります。

そこで今回は、「宿題」についてお話します。「宿題」は、各教科から出題され、必ずやるべき課題です。では、なぜ必ずやらなければならないのか？

それは……「分からないところを分かるようにする」ためです。

例えば、「予習をして、授業内容をスムーズに理解できるように準備をする」「授業で学んだことを、ワークで復習して定着させる」など、宿題は授業を補う役割があります。

宿題にしっかり取り組むことで、みなさんの「分かる！」が増えます。「分かる！」が増えると、きっとやる気もUPして、勉強が楽しくなると思います。

では、二中ではどんな宿題がどのくらい出題されているのか？紹介したいと思います。

【日常的な宿題】…各教科、普段の授業の中で出されている課題

国語：漢字ノートの漢字練習&問題練習（毎授業1ページずつ）

単元ごとにワーク（単元テストに向けて）

数学：授業の振り返り（毎授業）

単元ごとにワーク

社会：授業や単元の振り返り（毎授業）

単元ごとにワーク（単元テストに向けて）

理科：授業の実験レポート（※1年生は2学期ごろから徐々に）

単元プリント（単元ごと）

英語：教科書本文の予習（毎授業）

BINGOの穴埋め（次の授業までに）

ワーク（授業の復習として）



※ 5月から、1・2年生は「セミナー学習」が始まりました。

「セミナー学習」は、「基礎学力の定着」と「学習習慣の定着」を目的とし、月曜は国語、火曜は数学など曜日ごとに決められた教科のプリントが毎日出題されます。

※ 3年生は、入試対策教材『新研究』が出題されています。こちら、「入試対策」と「学習習慣の定着」を目的とし、曜日ごとに決められた教科を毎日提出します。

【定期テストに向けての課題】…定期テスト時に提出する課題

◎ テスト範囲のワーク類

○ 自主学習ノート（取り組んだ生徒のみ）

※ 定期テストの範囲表や課題一覧は2週間前までに配ります。しかし、それを待って課題を始めるのは遅い！だから、各教科ともスモールステップで進められるように工夫して宿題を出題しています。

各教科とも、みなさんにとって必要だと思う課題を、こつこつ進められるように考えて「宿題」として出題しています。毎日継続して勉強することで力が付いてきます！家庭学習で「宿題」をする時間を大切にしていきましょう。